



Multidrive



取り扱い説明書

(株)アンブレラカンパニー

www.umbrella-company.jp

* この取扱説明書は株式会社アンブレラカンパニーが正規に販売する製品専用のオリジナル制作物です。

無断での利用、配布、複製などを固く禁じます。

Introduction

Empress Effects の Multidrive では「Empress の名に恥じない、ペダルの音ではなくアンプの音」を目指して設計されました。現代の多用なミュージックスタイルに対応できるように、演奏者の個性的なサウンドをクリエイトするため 3 タイプのオリジナルサウンド回路をブレンドする従来にはないスタイルを高いレベルで実現いたしました。アンプをスタッキングしてより複雑なトーンを作るようなコンセプトが Empress Multidrive では一台で完結させられます。

The Basics

Empress Effects の Multidrive は ファズ、オーバードライブ、ディストーションといった 3 タイプのドライブ回路をブレンドしてミックス出力する事が可能な画期的なマルチタイプドライブペダルです。またセレクトスイッチにて 2 つのコンビネーションを切り替える事ができます。

Fuzz

クラシックなファズサウンドです。ファズならではのサスティンとゲインが得られ、このサウンドをブレンドすることでリードパートに特有のカラーを与えることができます。

OverDrive

Empress effects が総力をあげて開発したオリジナル設計によるウォームで滑らかなオーバードライブサウンド。ギター自体のボリュームとピッキングの強弱に驚くほど良く反応します。強くヒットしたときのサウンドは正に真空管アンプそのものです。

Distortion

BJT、FET、LED、ダイオード、オペアンプを Empress ならではの卓越したセンスで組合わせたオリジナルのディストーション回路です。3 つのタイプをフリップスイッチで選択できます。(Mild/Crunch/Lead)

Controls

それぞれの3つの歪セクションは同じファンクションを持っています

GAIN

歪量のアマウントを調整

Volume

出力に送られる各セクションの音量を調整。0 ポジションでは出力にそのセクションのトーンは送られません。

Filter

各セクションには lp(ローパスフィルター)、hp(ハイパスフィルター)が装備され Multidrive の特徴的なサウンドメイクに大変役に立ちます。None ポジションではフィルターは無効になります。例えばマルチミックスでサウンドメイクする場合にファズセクションの高域だけ、とオーバードライブセクションの低域だけを個別にミックスするなどして個性的なトーンを追求する事が可能です。ローパスやハイパスフィルター共に 500Hz のカットオフ・フリークエンシーです。

Master Section Control

各セクションでブレンドされたミックス信号はマスターセクションに送られます。最終出力の調整とイコライジング(EQ)を可能にしています。

Hi - 高域のシェルフ EQ は 3kHz 付近から 10dB のブースト/カットで設計されています

Low - 低域の EQ は 150Hz 付近から 10dB のブースト/カットで設計されています

Mid Freq - 中域の EQ は 500Hz/250Hz/2kHz をトグルスイッチで切替可能です。10dB のブースト/カットで設計されています

Output - 最終アウトプットの調整を行います

Power

本機は 9-18VDC、2.1mm、センターマイナスの一般的な (BOSS タイプの) パワーサプライで動作いたします。120mA 以上のものをご利用ください。

【電源電圧について】

Empress Effects の公表では 9V~18V) の AC アダプターに対応しておりますが、一般的な 9V 仕様の AC アダプター(センターマイナス、BOSS タイプ)で、最高のエフェクト・パフォーマンスが実現できます。

Empress Effects 製品の設計は、内部電圧レギュレーターによる安定化電源と、チャージポンプ・コンバーター回路による正負電源化回路を備えています。この 2 段構成の電源回路により、ダイナミックレンジや S/N 比と言ったサウンドの基本となるオーディオ性能を高めています。12V~18V の AC アダプターを使用しても発熱量が増えるだけで、実際のサウンドへのメリットはございません。

Configuring the Select Switch

Multidriveのトグルスイッチで選択できるエフェクトのペアリングを内部の DIP スイッチで設定できます。1つ、または2、3つのセクションの組合せが設定可能です。

Switch	State	Section
1	B	fuzz
2	B	overdrive
3	B	distortion
4	A	distortion
5	A	overdrive
6	A	fuzz

Example:

以下の写真の例では B ステートは fuzz/overdrive/distortion の 3 つとも ON、A ステートでは overdrive だけが on になっています。好みに応じて設定を変更してください。

